

# 六十周年記念誌

(1986年度～2005年度)

平塚市ソフトテニス協会

# 目 次

|               |                    |                      |
|---------------|--------------------|----------------------|
| ご挨拶           | 平塚市ソフトテニス協会        | 会 長 藤 波 文 夫…………… 1   |
| 祝 辞           | 平塚市長               | 大 藏 律 子…………… 2       |
|               | 平塚市教育長             | 宮 川 利 男…………… 3       |
|               | 平塚市体育協会            | 会 長 大 木 一 郎…………… 4   |
|               | 前日本ソフトテニス連盟        | 専務理事 笠 井 達 夫…………… 5  |
|               | 神奈川県ソフトテニス連盟       | 会 長 河 野 洋 平…………… 6   |
|               | 県央ソフトテニス協会         | 会 長 小 山 巖…………… 7     |
|               | 藤沢ソフトテニス協会         | 会 長 伊 東 満…………… 8     |
|               | 小田原ソフトテニス協会        | 会 長 古 正 文 男…………… 9   |
|               | 神奈川県レディースソフトテニス連盟  | 理 事 長 金 児 忠 枝……………10 |
|               | 平塚市中学校体育連盟ソフトテニス部門 | 部 長 吉 成 伸 司……………11   |
| 年 表……………      |                    | ……………12              |
| 地域功労者受賞者…………… |                    | ……………13              |
| 思 い 出         | 平塚市ソフトテニス協会        | 参 与 高 橋 哲……………14     |
|               | 平塚市ソフトテニス協会        | 参 与 柏 木 雅 昭……………15   |
|               | 平塚市ソフトテニス協会        | 参 与 相 原 孝 博……………16   |
|               | 平塚市ソフトテニス協会        | 副 会 長 笠 井 一 栄……………18 |
|               | 平塚市ソフトテニス協会        | 副 会 長 土 屋 眞 二……………20 |

|                 |    |
|-----------------|----|
| クラブ紹介           | 21 |
| 湘南クラブ           | 22 |
| コマツソフトテニス部      | 24 |
| つくもクラブ          | 25 |
| 土曜会ソフトテニスクラブ    | 26 |
| 東京電力神奈川支部庭球部    | 28 |
| なでしこクラブ         | 29 |
| 日産車体ソフトテニスクラブ   | 30 |
| チームこゆるぎ         | 32 |
| 二宮ソフトテニスクラブ     | 33 |
| 白陵クラブ           | 34 |
| 平塚市役所ソフトテニス部    | 36 |
| 平塚市ソフトテニス協会役員名簿 | 38 |
| 平塚市ソフトテニス協会規約   | 39 |
| 大会記録            | 43 |
| 編集後記            |    |
| 広 告             |    |

## ご 挨拶



平塚市ソフトテニス協会

会 長 灘 波 文 夫

平塚市ソフトテニス協会は、大東亜戦争が終戦後、沈滞した社会を、スポーツを普及させることで、活気と明るい社会を取り戻そうと、軟式庭球愛好者が集まり、平塚庭球協会を設立させたのであります。時に昭和22年4月のことでした。

日本で作られた軟式庭球も、時代と共に、海外にも普及し、実施する国が多くなった為に、平成4年4月にソフトテニスと改称されたのであります。

協会が発足した当時は、庭球場はありませんでしたが、市長をはじめ、市当局者の御尽力により、昭和30年9月に松風庭球場（11面のコート）が建設されました。しかし地主から土地の返還を強く求められた為、昭和45年田村に現在の平塚市立軟式庭球場（10面のコート）が建設されたのであります。

平塚市ソフトテニス協会の60周年を迎えるにあたり、過去を振り返った時、市当局の御尽力に心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

ソフトテニスは、基礎技術を習得するには他のスポーツより時間がかかるかも知れませんが一旦習得すれば、年老いても出来るスポーツ、健康を保持するのに相応しいスポーツとして、これからも末永くソフトテニスを愛好され、御活躍されることを期待いたします。

## お祝いのことば



平塚市長

大 藏 律 子

平塚市ソフトテニス協会の創立60周年、誠におめでとうございます。貴会におかれましては、戦後間もない時期に発足し、本市のスポーツ文化の基盤づくりの段階から長年にわたりご協力いただいております。ソフトテニスの普及と技術の向上に、たゆみない努力を重ねてこられた関係者の皆様に、深く敬意を表します。

ソフトテニスは、日本で生まれたスポーツで、子どもからお年寄りまで、幅広い年代層の方々に親しまれております。全国的にも、各地で様々な年齢層を対象とした大会が数多く開催され、趣味として楽しむだけでなく、より高いレベルの目標を設定して士気を高められる環境にあると言えます。仲間と喜びや苦しみ、感動を分かち合いながら、長く楽しめる生涯スポーツとして、愛好者がますます増え続けるよう願っています。

皆様は、各種大会の開催など、地域のソフトテニスの振興にも力を入れておられます。ソフトテニスを通して、体力の増進や健康な体をはぐくみながら、年齢を越えた心の交流を図り、より多くの人々とのふれあいの輪が広がることを期待しています。そして、それがやがて、地域の連帯感や人間関係の強化につながり、あたたかい地域社会の形成に役立ってほしいと思います。

本市では、「健康といきがいと満ちたふれあいのあるまち」を目指し、だれもが体力・年齢・目的に応じて、気軽にスポーツやレクリエーション活動を楽しめる環境整備に向け、情報の提供や指導者の育成などの支援をしています。今後も、心と体の健康をつくる、活力あふれるまちづくりを進め、市民一人一人がいきいきとした毎日を送れるよう、様々な活動を支えてまいります。

最後に、貴会におかれましては、引き続き、本市のスポーツ振興へのお力添えをお願いいたしますとともに、貴会のご発展と会員の皆様の一層のご活躍とご多幸を心からお祈り申し上げます。

## 創立60周年に寄せて



平塚市教育長

宮川 利 男

「平塚ソフトテニス協会」創立60周年まことにおめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

昭和22年4月、平塚クラブを中核として平塚庭球協会が発足してから今日まで、ソフトテニスの普及、発展のため、貴協会関係者の皆様方が、熱意と情熱を注ぎ、さまざまな活動をされて来たことに敬意を表します。特に昭和49年2月、第1回大会をスタートに第13回大会まで見付台体育館で開催した「全日本選抜軟式庭球大会」。また、平成5年3月を第1回大会として第5回大会まで平塚総合体育館で開催した「ジャパンカップ国際大会」等、全国、そして国際的な大会をこの平塚の地で開催できた裏面には、皆様方の並々ならぬご苦勞、ご尽力の賜物と思っています。平塚市のソフトテニス愛好者、関係者、並びに平塚市にとっても貴重な経験、そして大きな財産になったことと思っております。改めて感謝申し上げます。

現在の登録団体・会員は中学、高校が中体連、高体連にそれぞれ登録しているため、社会人のみになっていますが、初心者から上級者まで、プレーヤーのことを考え、年間10以上の各種大会を工夫して企画運営し、ソフトテニスを楽しみ、身体を動かすことの楽しみを多くの方達に教え伝えてくれています。

ソフトテニスは優れたアスリート同士が技と力を競い合う競技性を持つスポーツですが、一方、ラケット重量が硬式より軽いこと、ボールも軽く反発力が低いので、肘等への身体的負担が硬式テニスに比べ少なく、そのため子供達から高齢者まで、幅広い世代で愛好される生涯スポーツとしての側面を持ち合わせていると思います。今後も今まで以上にソフトテニスの普及、育成活動に情熱と工夫を持って取り組んで頂き、技能のレベルアップはもとより、体力・健康の維持増進を図り、健康な街づくりにも貢献して頂ければ幸いです。

最後になりますが、貴協会のますますのご発展を心より祈念いたします。

## ソフトテニス協会60周年を祝して



平塚市体育協会

会 長 大 木 一 郎

平塚市ソフトテニス協会が創立60周年を迎えられましたことは、誠に喜ばしく心からお祝い申し上げます。また、60周年にわたる輝かしい足跡を綴る記念誌は、会員相互の交流と、崇高な理念のもとに献身的な努力を続けられた会長さんをはじめ役員の皆様方の偉業や御苦労を後世に伝えることとして、誠に意義深いものです。

ソフトテニスの歴史は古く、硬式テニスとして輸入されたものを独特のゴムボールによる軟式テニスとして開発し、飛躍的な発展をとげ今日に至っています。このような歴史的な背景の中で、昭和22年4月1日に平塚市軟式庭球協会を発足し、同時に神奈川県軟式庭球連盟に加盟し、リーダーシップを取り続け、昭和25年4月に平塚市体育協会が設立されると、いち早く他の4協会とともに加盟し、平塚市体育協会発展につくした業績は計り知れないものがあります。

ソフトテニス協会のすばらしい点の1つとして、昭和49年2月を第1回として第13回まで平塚インドア全日本選抜軟式庭球大会を見附台体育館において開催したことと、平成4年から10年まで7回にわたり、平塚市総合体育館にてソフトテニスジャパンカップ国際大会を実施したことです。全日本大会等で活躍された優秀な選手の試合を目の当たりに観戦することは、選手のレベルアップにつながるるとともに、ソフトテニスを身近なスポーツとして考え競技力の向上・発展に寄与したことです。すばらしい点の今1つは、今日、健康の維持増進、生涯スポーツに関心が高まる中で専用の軟式庭球場という恵まれた環境の中でソフトテニスを楽しむと同時に生涯スポーツ普及のために努力されている点です。

平塚市ソフトテニス協会が記念すべき創立60周年を契機に、選手の育成、競技力の強化をはかり更なる発展、向上を遂げることです。また、ソフトテニスを通じ、少年少女からシニアに至るまで生涯スポーツの向上のために今後も努力してください。

最後に協会役員、会員の皆様の御健勝と御発展を祈念しお祝いの言葉とします。

## お祝いのことば



財団法人日本ソフトテニス連盟

専務理事 笠井達夫

平塚市ソフトテニス協会が、めでたく創立60周年を迎えられましたことを、平塚で生まれ育ち、平塚でソフトテニスの指導を受けた者として心からお祝い申し上げ、記念誌が発刊されますことをお喜び申し上げます。

平塚協会25周年記念の時に実現出来なかったため、協会の創立者で優秀な協会に育てていただいた故・藤本市郎氏、鳥海秀次氏、笠井栄氏がお元気の内に協会の歴史をまとめておかなければと40年誌を発刊してから早くも20年が経った訳ですが、一生懸命資料整理をしたことがつい昨日のこのように目に浮かびます。組織を継続することは大変なことであり、その組織の歴史と足跡を正しく伝えることは重要なことだと思います。

神奈川県連でも平成9年に50周年を迎へ記念誌を発刊しました。残念なことに古い資料がほとんどなく困難性を極めました。幸いに伝統のある小田原協会と故・鳥海秀次氏がまとめた平塚協会の資料により、ようやく編纂することが出来ました。日本連盟でも20年前に3年間をかけて100年史をまとめ、昨年ソフトテニス創始120周年、連盟創立80周年を記念として20年間の歩みを発刊しました。

今回の輝かしい実績を後世に伝える記念誌の発刊は大変意義のあるものであり、本誌編纂にあたりご尽力された方々に敬意を表し、深く感謝を申し上げます。

平塚協会の役員として学び、神奈川県連理事長を22年間務め、日本のソフトテニスの発展を担うまでにご指導頂いた先人に感謝を申し上げ、平成19年からスタートする日本連盟の次期5カ年計画の中で、オリンピックを含めた国際振興を図り、ソフトテニス人口の大半を占めソフトテニスの将来を担うジュニア層の競技力向上を目指した競技者育成プログラム（一貫指導システム）の推進のため、全力を尽くす覚悟です。

県下においても名実ともに磐石な地域協会に成長された貴協会がますます発展されますことを祈念して祝辞といたします。



## お祝いの言葉



神奈川県ソフトテニス連盟

会 長 河 野 洋 平

平塚市ソフトテニス協会が平塚軟式庭球協会として発足してから、60年になりますこと、まことにめでとうございます。

この60周年の間に、運営に携わってこられた多くの役員の方々が入り代わり立ち代わりしながら、連盟と協会の存続と発展を支えつづけてこられたことに、まず深い敬意を表したいと存じます。同時に協会を構成する会員の皆様一人一人の深い理解と協力が60年という長い年月の継続を許されてきたものでございます。

軟式庭球から軟式テニスそしてソフトテニスへと時代の流れにあわせて名称を変えながら、今日の発展を迎えておりますソフトテニス界も、ますます近代化の様相を備え、国外への宣伝啓発活動はもとより、国内における活動につきましても、指導者養成プログラムを始めとして、ジュニア審判制度の導入等、ナショナルチームからジュニアに至るきめ細やかな部分まで、その活動を活発化させております。

平塚市ソフトテニス協会が、ジュニア層からシニア層に至るまで、全国的な視野のもと、それぞれの層で好成績を取られ、さらに日頃の活動においても、初心者から上級者まで、幅広く活動をサポートし、活発に活動を展開されていることは、世界に羽ばたくには、まず地域協会からという基本的あり方の模範としてまことに心強い限りであります。これらの日頃の着実な積み重ねが、神奈川県ソフトテニス界の中心的な役割としての存在を確たるものにしていく訳ですが、今後は全国展開も含めて、さらなる活動の飛躍が期待されるものと存じます。

今後のソフトテニス界のますますの発展を願うものでありますが、そのためにも、平塚市ソフトテニス協会の今後の活動が大きく影響することになります。ソフトテニスの一層の振興と隆盛にご尽力をお願いいたしますと共に、平塚市ソフトテニス協会のさらなる活動の飛躍と発展と、関係各位のご活躍をお祈りして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## お祝いのことば



県央ソフトテニス協会  
会 長 小 山 巖

平塚市ソフトテニス協会が創立60周年を迎えられ、ここに輝かしい足跡を綴る記念誌が発行されますことを、心からお慶び申し上げます。

今日の貴協会の隆盛を築き上げられた諸先輩をはじめ関係者皆様の献身的なご尽力に対し、心から敬意を表すものであります。60年と申しましてもその間には様々なご苦勞があったものと推察致します。古くは大久保公園コート、松風コート、そして今の田村コート、又全日本選抜大会、ジャパンカップ大会等の思い出は心に残るものがあります。現在でも湘南クラブを中心に貴協会が県下はもとより中央の大会等で素晴らしい成績を残していることに、深く感謝申し上げます。

軟式庭球から軟式テニスそしてソフトテニスと時代の流れに合わせ、小学生から高齢者まで幅広く生涯スポーツとして変及と発展にこれからもお互いに力を合わせ盛り上げていきたいと思ひます。

最後になりましたが、平塚市ソフトテニス協会のますますのご活躍と関係者皆様のご健勝を祈念してお祝いの言葉といたします。

## お祝いの言葉



藤沢ソフトテニス協会

会 長 伊 東 満

平塚市ソフトテニス協会創立60周年を記念し、役員の皆様方に心よりお祝い申し上げますとともに、日頃より協会の発展にご尽力されている関係者の皆様方に深く敬意を表します。平塚市には、昭和30年に市営松風コートが完成して、その当時全国でも11面コートの庭球場をもっているところはなかったと思われます。そのコートで全国実業団大会、関東大会と幾多の大会が行われ、名勝負が繰り広げられて七夕祭りだけでなく、平塚市の名が全国に知れ渡りました。その松風コートが廃止となっても、相模川沿いにすばらしいテニスコート（田村コート）ができ、いつもきれいに整備されたコートでまとまったコートのない当協会としましては、うらやましい次第です。もちろんテニスコートだけではなく、数多くの有名選手が貴協会から育ち、国民体育大会、全国大会等で優秀な成績を収めております。その中でも貴協会と言えば、笠井ファミリーと脇田ファミリーは全国に名の知れた二枚看板で、特に前会長の故笠井栄氏にあっては、90歳になってもテニスコートでプレーしていたというように、ソフトテニスが生涯行えるスポーツであることを証明しました。また、幾多ものソフトテニスの発展にご尽力された功績は、偉大なものであります。その影響からなのか、貴協会は家族愛・団結力のあるチームだと協会対抗等の試合の中で感じているところであります。現在、当協会では、年々試合の参加数が減少してきており、まとまったテニスコートがないため試合の編成等に苦勞しています。今後の課題として次世代を育成していくことが重要であると考えており、小学生の育成・指導に当協会としても力を入れてまいります。

日本で創始されてから120年を超えたソフトテニスが、これからも多くの人に愛されるようお互い切磋琢磨して盛り上げていきましょう。

終わりに60周年を契機として、更なる飛躍と今後の発展を祝念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 協会発会60周年を祝して



小田原ソフトテニス協会

会 長 古 正 文 男

平塚ソフトテニス協会の発会60周年を心からお祝い申し上げます。

一口に60年と申しますと、それは人に例えれば、日本人の寿命が延びた今では、成人期間に相当するものでありまして、その間に数多くの事柄に遭遇し、それぞれの時点における多くの関係者の労苦が結実して今日の協会の隆盛を極められた筈でありまして、貴協会の今は亡き方々を含む多数の会員の皆様に限りない敬意を表するものがあります。

ソフトテニスは、わが国で創始されて百数十年を経過しているわけではありますが、平塚協会は、戦後間もない昭和22年に発足され、ほぼ日本の戦後復興と共に歩まれて、着実な発展を遂げられ、今日に至っておられます。

特に昭和30年には、県下最大のコート面を保有する「松風庭球場」を開設され、県のほぼ中央部に位置する立地条件から、地元の平塚協会はもとより、神奈川県連盟の大会開催等当時の軟式庭球発展に多大な貢献をされ、全国レベルの有力選手を多数育成されました。

その後、諸般の事情から松風庭球場は閉鎖されましたが、市内東北部の田村に10面ものクレートコートが開設され、現在も多くの県内ソフトテニス関係者の強力な“場”の提供に役立っておられます。

テニスは、コートという“場”があってこそ始めてプレイが可能であり、その点からも、貴協会内から数多くの著名選手が輩出していることは、自明の理であります。

今や、数多くの面数を有するクレートコートは、県内では限られた地域にしか存在しないことは残念であります。幸いにも、平塚協会の努力によって、これが長く維持され、将来とも若者から熟年者まで、生涯スポーツの王様として活用されることを願って止みません。

平塚協会が、これを機にますます発展されるよう祈念して、祝辞と致します。

## 御 祝 の 言 葉



神奈川県レディースソフトテニス連盟  
理事長 金 児 忠 枝

平塚ソフトテニス協会が発足してから60周年をお迎になられたこと、心から御祝申し上げます。この60年にいたるまでには歴代の役員の方々をはじめとして多くの皆様が大変御苦勞を重ねられたことと存じます。貴協会の上部団体へのソフトテニスの振興・発展には平塚ソフトテニス愛好者の御尽力には敬意と感謝を申し上げます。県レディースソフトテニス連盟も平塚市立軟式庭球場をホームコートとして、お陰様で33年を迎えます。この会場と運営には指導・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。この記念すべき年に、第33回全日本レディースソフトテニス大会個人戦を平塚市立軟式庭球場で、8月8日・9日、開催させていただきます。よろしくお願い申し上げます。私自身も昭和50年10月、第一回県内家庭婦人大会に選手として参加、市民大会に脇田・金児で優勝ラケットをいただいた思い出、又、すばらしい多くの出逢もありました。磯村名男氏、藤本市郎氏、鳥海秀次氏、当連盟を30年支えていただいた会長笠井栄氏、指導力はもとより、温和にて尊敬する方々、私のテニス人生には永久に忘れることはできません。

人は皆で楽しみ共に喜びを分かち合いたいのです。今も昔も変わらないものそれは、スポーツを通して社会を明るく健康にする事、お陰様で、私達は普及と指導の向上を通してソフトテニスの振興にいささか貢献できたかと自負もあります。この六十周年を機会に貴協会と共に和をもって余暇を楽しみ、いい汗を流してつくる友情の輪が広がって年輪を刻まれることを願います。最後になりますが、感謝の意をこめて平塚ソフトテニス協会の発展と会員の皆様の御健勝を心から祈念し御祝の言葉といたします。

## お祝いの言葉



平塚市中学校体育連盟  
ソフトテニス専門部門

部長 吉 成 伸 司

平塚市ソフトテニス協会発足60周年にあたり、永年活動を続けてこられました皆さまとともに心からお慶び申し上げます。また、平塚市ソフトテニス協会の活動を通じて、広く学校教育の現場でソフトテニスの振興および技術の向上にご尽力いただきました皆さまのご苦勞に対しまして、深く敬意を表す次第です。

平塚市ソフトテニス協会は、その前身である「平塚庭球協会」の発足時には、すでに中学校・高等学校が15団体所属しており、学校教育の現場と直接の連携のもとに、さまざまな活動を行なってこられました。そして視点は常にソフトテニスの生徒への普及に置きながら、環境の改善・充実に努めてこられました。また、灘波先生をはじめ多くの方々には、地域指導者として、単に技術の伝達・向上のみならず、ソフトテニスを一生涯続けていくことの出来るスポーツとして教えていただきました。ここに改めまして、平塚市ソフトテニス協会の皆さまに感謝申し上げます。

中学校の現場といたしましても、子どもらがソフトテニスを生き生きと行なうことを願い、さまざまな環境の整備を行なっていこうと日々努力を重ねています。それらを推進する上で、平塚市ソフトテニス協会の皆様方のご理解・ご協力なくしては成し得ないと考えております。

最後になりましたが、栄えある発足60周年を迎えられたことを契機として、平塚市ソフトテニス協会のますますのご発展と、皆さまのご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉にかえさせていただきます。